

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年1月29日

配布数

回収数 4

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール朝霞駅前

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	2 職員の配置数は適切であるか	1	2	1	0	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	・職員の人数の影響で、新規のお子さんをお断りするなど制限がかかっている。 ・OT・ST等医療職スタッフが配置されると尚良い。	朝霞台スクールにもヘルプ要請をして、職員数を多くしながら対応している。また、今後の職員採用も急ぎ進めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・交通アクセスが良く（駐車場が完備されている）、テナント内にエレベーターも設置されている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1	0	1	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	・日々の業務は個々人の発達に委ねられている面がある（現在は大きな問題点が見られていない）。今後職員数・児童数が増えた際に役割分担が必要である。	現在においても駅前スクールの職員数は同じである為に改善していることは無いが、巡回の先生に情報共有などは欠かさず行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・まだ保護者用の評価は実施されたことがない。 ・今年度オープンのため、現状はアンケート実施のみ。	・今回、初めて利用者アンケートを実施しましたので、その内容を踏まえて、業務改善に取り組んで参ります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・まだいずれの評価も今回が初めての実施になる。	・今回初めて自己評価アンケートを実施して公表致します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2	0	0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	・療育研修が少なく、自己研鑽に任されている部分が多い。 ・今年度は選択式研修がさらに充実しているが、職員の自己研鑽に委ねられる場面が多い。	・内部研修は、今年はコロナの影響はあるが、適宜実施している。 ・研修を受けられるだけの必要な人員を募集して欲しいと駅前スクールの現状を本社へ要望を伝える
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・標準化されたアセスメントツールを参考にして日々のセッションや計画（個別支援計画）をたてているが、統一がされていない（スクール内で）。 ・そのようなものがあると知らなかった。	・今後、アセスメントツールについては検討を進めます。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	1	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%		
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・個別セッションであっても複数の指導員が支援に加わることもあり。	今後も継続していきたい。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・お子様の興味・関心に寄り添ってプログラムを作成している。	今後も継続していきたい。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・前半運動時間の使い方を工夫し、ルール遊び等を実施している。グループセッションも必要に応じてご案内している。	今後も継続していきたい。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・スクール長を含め、十分な情報共有を実施している。	今後も継続していきたい。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・スクール長を含め、十分な情報共有を実施している。	今後も継続していきたい。
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・必要に応じて写真撮影やセッションの録画も行っている（事前に許可をとっている）。	今後も継続していきたい。
関係機関 や保護者 との連携	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・必要に応じて相談支援事業所との情報共有を行っている。	今後も継続していきたい。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・現在そのような会議はまだ参加していない。 ・近隣地域との連携に積極的である（公的機関への挨拶も実施）。	今後も継続していきたい。
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・近隣保育園の先生方が見学されるほど意欲的である。	今後も連携を継続していきたい。
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・必要に応じて園の先生方と電話で情報共有を実施している。	今後も継続していきたい。
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・現在そのような事例はないが、情報共有しようとする気持ちはある。 ・可能であれば見学等を行ってみたい。	可能であれば実施していきたい。
	24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・近隣エリア内のSEDスクールと情報共有・助言を受けている。	近隣のスクールや他事業所とも連絡を取るようになっている。今後も継続していきたい。
	25 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2	0	0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	・左記部会、会議等の開催状況を把握していない。	現在地域の会議に出席できるような職員数がそろっていない。
	26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・セッション内での振り返り時を活用している。	今後も継続していきたい。

保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・入所時にスクール長から保護者様へ丁寧な説明がある。	欠席時対応加算については、より丁寧に説明を心掛ける
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・その場で助言できない時は、全職員でカンファレンスを実施している。	今後も継続していきたい。
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・お一人お一人の希望に添えるようセッション利用日や時間の調整を行っている。	職員数の関係上、対応出来ない事もあるが、対応できるところは今後も対応していく。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・コドモンを用いた情報発信が充実している。	今後も継続していきたい。
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	2	2	0	0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	・退勤時、書類管理などが徹底されていないことがある。	整理整頓や個人情報の書かれたものは見えないようにするなど職員で対策を話した。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・防災・AEDの位置確認・防火訓練は実施したが、不審者侵入時における対応が心配である（自動ドアが子供の手の力でも開いてしまうため）。	自動ドアについては、会社にも報告して、見積もりにも来てもらう。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	1	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・プロフィールシートに記載されているものは事前に目を通しているが、最新情報や当日の用法等は未確認である。	来所時、子供の状況を伝えてくれる保護者に対しては、プログラム等、その状態に応じたプログラム内容にすることもある。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・該当が疑われる児に関して情報共有カンファレンスを実施している。	今後も継続していきたい。